

■ ■ ■ 柏瀬 祥一(らんとーく 登壇者) ■ ■ ■

◆らんとーく (2016年6月11日(土)10:00-12:00)

1970年埼玉県生まれ。1990年の大学進学から陸上を本格的に始める。最初は中距離・長距離を専門にロードを時々走り、卒業後に埼玉県内に就職後は市民ランナーとして20年以上続け、気づくと人生の半分以上はランニングをしている。

ウルトラマラソンは、2000年に「チャレンジ富士五湖」が最初で、初めての100キロは同年の「秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン」。2005年から「サロマ湖100キロウルトラマラソン」も参加。秋田内陸は2011年に10回完走してクリスタルランナーの、サロマ湖は2015年に10回完走してサロマンブルーの認定を受けた。

ベストタイムは、フルが2時間56分(04年つくば)、100キロが9時間34分(08年サロマ湖)。今はフルが4時間台、100キロは12時間台とピーク時からはゆっくり目になっているが、ランニング仲間との交流に重きを置き、沿道の光景や季節の移り変わりを楽しみつつ、タイムがまた上がるときを信じて少しでも長く走り続けてゆきたい。

最近のラン仲間との話で「記録を出すことよりも走り続けていることがすごい!」と言われ、言われてみて初めて分かる「そうなんだ…」という気づきを大切にしようと思っている。

2016.5.18 柏瀬 祥一

